

当事業は、若年性認知症のマネジメント支援に関するモデル事業である。若年性認知症者および介護者が抱える多岐にわたる相談をワンストップで対応し、関係機関と連携を図りながら支援を実施した。当事業の報告書では、支援に至るまでの経過の現状とマネジメント支援の結果とともに、実際に若年性認知症者が受けている支援の現状と高齢者と異なる特有の課題について明らかにしたことを述べ、最後に若年性認知症の専門相談支援のあり方について報告する。

1. 目的

- 1) 相談・社会資源を利用できない理由を明らかにする
- 2) 若年性認知症特有のマネジメント方法のモデルを作る
- 3) マネジメント支援モデルの普及・啓発を行う

2. 方法

- 1) 支援の期間を1年間とし、マネジメントを実施する
- 2) 「連携シート」の活用により、各関係機関との情報共有および連携を図る

3. 対象者

若年性認知症者 25名とその介護者

4. 支援結果

- ・マネジメント支援の結果
- ・介護者相談会の結果
- ・アンケートの結果

5. 支援からわかってきたこと

- ・若年性認知症相談支援の現状
- ・若年性認知症特有の相談支援
- ・相談支援の課題

6. 専門相談窓口での支援方法およびあり方